

あけましておめでとうございます。本誌が発行される頃には、お正月ということで故郷へ帰省されている方も多いかと思います。お正月といえばお雑煮におせち料理。物流や情報伝達手段の広がりとともに、色々なものの地方色が失われていくなか、お雑煮はまだまだ地方ごとの特色がみられるものの一つだと思います。私の実家では、醤油だしに鶏肉、蒲鉾、伊達巻、人参、小松菜、椎茸、里芋、角餅（お餅以外で7種類）という構成ですが、みなさんの召し上がるお雑煮はどのようなものでしょうか。さて、今月の特集は「鉄道的高速化技術」です。帰省に鉄道

を使われる方も多くいらっしゃると思いますが、鉄道の歴史は高速化の歴史でもありました。高速化というと、車両の最高速度に目が行きがちですが、実際には車両以外も含めた幅広い技術分野の集大成として初めて実現できるものです。その一端を今月の特集からご理解いただけたら幸いです。

次号の特集は「鉄道の流れをみる」です。鉄道の動きを時間の流れ、物の流れ、色々な視点で物事をみると、また違った一面が見えてくるかもしれません。ご期待ください。(T.K.)